

設計課題 健康づくりのためのスポーツ施設

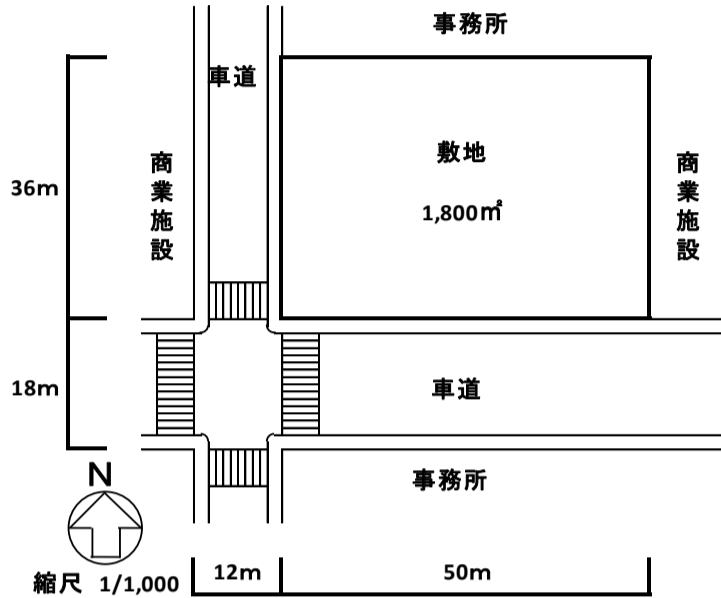
I. 設計課題

I. 設計課題

この課題は、ある地方都市の中心市街地において、健康づくりのためのスポーツ施設を計画するものである。この施設は、高齢者も含めた地域住民が、様々な軽運動を行うことにより、健康の維持・増進を図ることを目的とし計画する。また、計画に当たっては、環境負荷低減のため、自然エネルギーを利用し、快適な室内環境が得られるような設計手法(パッシブデザイン)を、積極的に取り入れるものとする。

1. 敷地及び周辺条件

- 敷地の形状、接道条件、周辺状況等は、下図のとおりである。
- 敷地は、平坦で、道路及び隣地との高低差はないものとする。また、歩道の切り開きは、1箇所当たり6mまでできるものとする。
- 敷地は、近隣商業地域及び準防火地域に指定されている。また、建ぺい率の限度は80%、容積率の限度は400%である。
- 電気、ガス及び上下水道は、完備している。
- 地盤の状況は良好であり、杭打ちの必要はない。
- 気候は温暖で、地下水及び積雪についての特別の配慮はしなくてよい。



2. 建築物

- 構造・階数等
構造種別は自由とし、地上3階建ての1棟の建築物とする。
- 床面積の合計
床面積の合計は、2,800㎡以上、3,200㎡以下とする。
この課題の床面積の算定においては、ピロティ、搭屋、バルコニー、屋外階段等については床面積に算入しないものとする。
- 要求室
下表の室は、すべて計画する。

部門	室名	特記事項	床面積
*軽運動部門は、更衣室階で下足から上足に履き替えて利用する計画とする。			
軽運動部門	温水プール	・無柱空間とし、天井高さ6m以上とする。 ・プールは、長さ20m、幅8m、最深1.2mとする。 ・監視員室(カウンター、便所)を設ける。 ・採暖室(30㎡以上、ジャグジー)、器具庫を設ける。	約400㎡
	更衣室	・温水プール及びトレーニングジム等が利用する。 ・温水プールへ直接行き来できるようにする。 ・男性用、女性用として各約100㎡を設ける。 ・ロッカー、洗面所、便所、シャワー、足洗いを設ける。	約200㎡
	トレーニングジム	・各種運動器具を利用してトレーニングをする。 ・器具庫(約20㎡)を設ける。	約200㎡
	エアロビクススタジオ	・壁1面に鏡を設ける。	約80㎡
	ヨガスタジオ	・壁1面に鏡を設ける。	約50㎡
	健康測定室	・利用者の体力測定等をする。	適宜
	健康相談室	・利用者が健康等について相談する。	適宜
	観覧コーナー	・温水プールの観覧するコーナーを設ける。	適宜
	スタッフコーナー	・受付カウンターを設ける。 ・2階、3階それぞれに設ける。	適宜
	休憩コーナー	・自販機、テーブル及び椅子を設ける。 ・2階、3階それぞれに設ける。	適宜
共用部門	レストラン	・60席程度の椅子席を設ける。 ・厨房を設ける。 ・内部と外部の両方からアプローチできるようにする。 ・屋外テラスを隣接させる。	約300㎡
	会議室	・2室に分割できるようにする。 ・それぞれ約50㎡を設ける。 ・会議室は軽運動部の講習会等に利用する。	約100㎡
	スポーツショップ	・スポーツ関連商品を販売する。 ・内部と外部の両方からアプローチできるようにする。	適宜
	エントランスホール	・風除室を設ける。 ・待合わせラウンジ(約50㎡)を設ける。	適宜
管理部門	事務室	・5人分の事務スペースを確保する。 ・受付カウンターを設ける。	適宜
	館長室		適宜
	応接室		適宜
	職員控室	・男女別に設ける。	適宜
	指導員控室	・男女別に設ける。	適宜
	休憩室	・職員及び指導員が利用する。	適宜
	設備スペース	・採用した設備計画に応じて、設備機械室(空調、給排水衛生、電気、消火等)、屋外機器置場等を計画する。	適宜
*便所及び倉庫については適切に計画する。 *その他必要と思われる室等は、適宜計画するものとする。			

3. その他の施設等

- 多目的広場(50㎡以上、直径5mの円が入るもの)を地上に設ける。
- 屋外テラス(50㎡以上、テーブル、椅子)を地上に設ける。
- 駐車場は、車椅子利用者用として1台分、サービス用として1台分を設ける。
なお、利用者及び職員等の駐車場は、近隣の公共駐車場を利用するものとし、考慮しなくてよい。
- 敷地内の駐輪場は、施設利用者用として10台分を設ける。
- ごみ置場を設ける。
- (1)及び(5)の「その他の施設等」は、床面積に算入しないものとする。

4. 計画に当たっての留意事項

- 建築計画については、次の点に留意して計画する。
 - 敷地の周辺環境に配慮する。
 - 建築物はバリアフリー(特別特定建築物)、セキュリティに配慮する。
 - 各要求室を適切にゾーニングし、明快な動線計画とするとともに、避難等に配慮する。
 - 自然採光及び自然通風を積極的に取り入れる計画とし、日射の遮蔽に配慮する。
- 構造計画については、次の点に留意して計画する。
 - 建築物全体が、構造耐力上、安全であるように計画するとともに、経済性にも配慮する。
 - 構造種別、架構形式、スパン割りを適切に計画するとともに、適切な断面寸法とする。
- 設備計画については、次の点に留意して計画する。
 - 空調設備、給排水衛生設備、電気設備、消火設備等を適切に設けるとともに、環境負荷低減に配慮する。
なお、温水プールの空調は単一ダクト方式とし、給水設備は受水槽方式とする。
 - エレベーターを適切に設ける。

II. 要求図書

答案用紙Ⅰ及び答案用紙Ⅱの定められた枠内(寸法線については枠外でもよい。)に、黒鉛筆を用いて記入する。

1. 要求図面(答案用紙Ⅰに記入)

下表により、所定の図面を作成し(フリーハンドでもよい。)、必要な事項を記入する。
なお、各図面には、計画上留意した事項について、簡潔な文章や矢印等により補足して明示してもよい。

図面及び縮尺	特記事項
(1)1階平面図 兼配置図 1/200	① 各階平面図には、次のものを図示又は記入する。 イ. 建築物の主要寸法(柱割り及び床面積の計算に必要な程度) ロ. 室名等 ハ. 要求室の床面積
(2)2階平面図 1/200	ニ. 設備シャフト【(パイプシャフト(PS)、ダクトスペース(DS)、電気シャフト(EPS))】の位置 ホ. 設備計画に応じた設備スペース
(3)3階平面図 1/200	ヘ. 断面図の切断位置 ト. 要求室の特記事項に記載されている仕器等 チ. 延焼のおそれのある部分の位置(一点鎖線で図示する)。 リ. 特定防火設備のある部分を図示する。
(4)断面図 1/200	② 1階平面図兼配置図には、次のものを図示又は記入する。 イ. 建築物の出入口 ロ. 敷地内の駐車場、駐輪場 ハ. 多目的広場及び屋外テラスの面積 ニ. 通路、植栽等 ホ. ごみ置場 ③ 2階平面図及び3階平面図には次のものを図示又は記入する。 イ. 下階の屋根、ひさし等となる部分 ロ. 居室の最も遠い位置から2つの直通階段に至る歩行経路及び重複区間の距離を記入する。
(4)断面図 1/200	① 断面位置は、温水プールを含み、建築物の全体の立体構成がわかる断面とする。 なお、水平方向、鉛直方向の省略は行わないものとする。 ② 搭屋を除く建築物の高さ、階高、天井高、1階床高及び主要な室名を記入する。 ③ 基礎(一部省略してもよい)、梁及びスラブの断面を図示する。 ④ 屋上に設備スペースを設けた場合は図示する。

2. 面積表(答案用紙Ⅰに記入)

地上1～3階の床面積及びその合計を記入する。なお、各階の床面積については、その算定式も記入する。

3. 計画の要点等(答案用紙Ⅱに記入)

- 建築計画について、次の①～③の要点等を具体的に記述する。
なお、要求図面では表せない部分についても記述する。
 - 利用者及び職員等のアプローチ計画について考慮したこと
 - 温水プールと更衣室におけるバリアフリーについて考慮したこと
 - 採用したパッシブデザインについて特に考慮したことを3つ具体的に記述する
- 構造計画について、次の①～③の要点等を具体的に記述する。
なお、要求図面では表せない部分についても記述する。
 - 建築物に採用した構造種別、架構形式、スパン割りに関して考慮したこと
 - 屋内プールを無柱空間とするために構造計画で考慮したこと
 - 採用した基礎方式と、その選定理由について考慮したこと
- 設備計画について、次の①～③の要点等を具体的に記述する。
なお、要求図面では表せない部分についても記述する。
 - 温水プールの空調方式と、その選定理由について考慮したこと
 - 給排水衛生設備(受水槽・ポンプ、ボイラー・貯湯槽、循環ろ過ポンプ)の設置位置について考慮したこと、及びそれぞれの使用面積を記述する
 - 空調設備、給排水衛生設備及び電気設備における省エネルギー手法をそれぞれ具体的に記述する

※1:8/13(月)アップの予測課題1は、8/20(月)アップの解答図との整合性から一部修正した(青字部分)。

- 上下足の履き替え階を軽運動部の更衣室の設置階とした(この条件が無いと1階EV前が妥当)。
- 共用部門の会議室を「軽運動部の講習会等」に指定した(この条件が無いと1階共用部門設置が妥当)。